

特定非営利活動法人大阪自然史センター

2014 年度事業報告

(平成 26(2014)年1月1日～12月31日)

I 事業実施報告

60年の歴史を持つ大阪市立自然史博物館友の会(1955年5月発足)事業を中心に、発展してきた大阪自然史センターは2014年に13周年を迎えました。広く自然史科学の発展と普及にとり組み、大阪市立自然史博物館事業の進展に寄与することを通して、市民の自然に対する理解を深めることを目的として事業を展開し、2014年3月31日には念願であった「認定」特定非営利活動法人格を取得し経営基盤を固めたところです。

ところが、日常生活の場に目を向けると、大阪の自然をはじめ、日本・世界の自然は予断を許さない状況となっています。即効的な解決策を求めても、自然の衰退に拍車をかけてしまう恐れもあり、対処療法では抜本的な解決につながらない状況となっています。

日常的な集中豪雨や竜巻など自然災害の多発、里山でのシカの食害をはじめ、河川や湖沼でのヌートリアの食害をはじめとする外来生物による生態系への影響など、自然の様子は急激な変化を見せています。これらの社会課題への対応におけるNPOの果たす役割も、年々重みを増してきています。

自然環境を知ろうとする自然史知は、人間の本能とされ、文化の礎、文明社会の礎です。未来の世代たちが豊かな社会を築くために自然史知があるという視点を持ち続けていく努力が不可欠とされています。センターのミッションでもある自然史科学普及啓発は、生物界を取り巻く自然を広く永く見る機会をより多く作り、多様な自然界をより知ってもらう事業をますます充実させ、持続可能な社会を創造していく視点としてますます活動意義を感じるところです。

2014年は、社員はじめ各事業関係者の支援と協力を得て、定款に掲げる事業に積極的に取り組みました。

東日本大震災復興支援では、昨年に引き続き助成事業に着手するなど関係団体と協力体制を整え積極的な取り組みを続けています。

また、2010年にCOP10で議論された「愛知ターゲット」達成までの期間は残すところ5年となっており、その取り組みはセンターにとっても喫緊の課題となっています。国際生物多様性年の5年目として、シンポジウムや研究会等に参画するとともに、平成26年度二酸化炭素排出抑制対策事業(地域における草の根活動支援事業)に着手し、また、大阪を中心に活動する核的な組織である「生物多様性かんさい」を企業も交えて構成し、研究会に参加するなど普及活動に積極的に参加してきました。

センターの活動は、自然系団体の中間支援的な活動も要請されています。行政・公共団体のみならず企業・民間団体とも協力し、市民派自然系団体の集まる大阪自然史フェスティバルを開催しました。また、「生物多様性保全ネットワーク(2012 設立・事務局)」では、大阪府と連携し、自然系団体の成果を集約する形で大阪府RDB事業に取り組みました。

今後は、運営基盤となる事務局体制の一層の充実と職員資質の向上、少数精鋭でフレキシブルに対応できる組織を目指し、日常的にコミュニケーションをとり、関係者の意欲が形となる職場をめざしていきます。

2014年3月31日認定NPO法人格を取得してからも多くの善意に支えられ寄付も増加する中で、社会情勢の変化に沿ったミッションの見直し、ビジョンの構築を図り、より広くの賛同者を得るべく、経営強化図り、今後も社員をはじめ職員、関係者を交え、自然に親しもうとする市民・市民団体とともに「自然史科学の発展と普及」に資する事業展開と活動につなげていきたいと考えています。

2015年は、友の会設立60周年の記念年として、今後10年20年の活動基盤を再構築する年としていきます。

II 各事業について

1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の12回発行と月例ハイキングや友の会合宿など自然観察事業を実施

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府下など

[日 時]

平成26年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1691名、賛助会員 63名

2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため大阪市から占用許可を受け、定期的な博物館との連絡会を設け博物館の掲げる趣旨に沿って自然史に関する書籍、グッズ等の提供し、春・夏・秋の特別展示をはじめ各種イベント開催にあわせ提供物品を充実させ博物館来場者・博物館ファンの満足を得られるよう物品サービスの提供に努めた。

[場 所]

大阪市立自然史博物館

[日 時]

平成26年通年

[対象者]

一般来館者

3. ボランティア事業

実施なし

4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。

5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための大台ヶ原自然再生調査・貝塚市自然環境保全基本調査・ニホンジカ生息状況調査事業・ニホンザル追跡調査・大阪府レッドリスト作成業務等を受託・実施した。

[日 時]

平成26年通年

[場 所]

大阪府下等

6. 普及教育受託事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため大阪自然史フェスティバル等の各種イベント・事業のチラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立天王寺動物園から動物剥製標本の修復事業を受託実施した。キッズプラザ大阪生態展示「アリコロカナギス」維持管理業務、池田市立五月山動物園ワークショップ業務、東北遠征ワークショップ業務、生物多様性協働フォーラムサイドイベント運営等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪市立天王寺動植物園、キッズプラザ大阪、池田市立五月山動物園、大阪府下など

[実施日時]

平成 26 年通年

7. 自然保護・自然環境保全事業

関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジュームの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府下など

[日 時]

平成 26 年通年

8 施設運営管理事業

高槻市芥川緑地資料館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業を実施した。

高槻市芥川緑地資料館の施設管理運営事業の共同受託

地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターでは主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様に基づき施設の維持管理及び普及活動に邁進してきた。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1

[事業期間] 平成 26 年度から 28 年度末まで

Ⅲ 社員総会の開催状況

[名 称] 平成 25(2013)年度定期(第 13 期)総会

[場 所] 大阪市立自然史博物館集会室

[日 時] 平成 26 (2014) 年 2 月 8 日 (土) 午後 3 時 00 分～4 時 00 分

[出席者数] 47 名 (社員総数 70 名 本人出席 23 名、委任状出席 24 名)

[内 容]

議 事

第 1 号議案. 平成 25 (2013) 年度事業報告 (事業報告書)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって平成 25 (2013) 年度事業報告を承認した。

第 2 号議案. 平成 25 (2013) 年度決算報告 (財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって平成 25 (2013) 年度決算を承認した。

第 3 号議案. 平成 26, 27 (2014, 2015) 年度事業計画 (事業計画書)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、事業計画資料については監督官庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 26, 27 (2014, 2015) 年度事業計画を承認した。

第 4 号議案. 平成 26, 27 (2014, 2015) 年度予算 (活動予算書)

事務局から提案説明し、一部誤植を修正し、また、監督官庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 26, 27 (2014, 2015) 年度予算を承認した。

第 5 号議案. 役員 の 退任 について

宮川 五十雄理事が一身上の都合により辞任。
出席社員の満場の一致をもって承認した。

第 6 号議案 認定 NPO 法人化に向けて

事務局より進捗状況と今後の進み方についての説明があり、出席社員に諮ったところ、出席社員の満場の一致をもって承認した。

Ⅳ 理事会の開催状況

第 1 回理事会

[名 称] 平成 26(2014)年度第 1 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 26 (2014) 年 2 月 8 日 (土) 午後 1 時 30 分～2 時 50 分

[出席者数] 10 名 (総数 13 名 本人出席 8 名、議決権行使書 2 名)

[内 容]

議 事

報告 1 将来計画委員会での検討結果について

報告 2 指定管理事業 (あくあびあ芥川) の受託の進捗

報告 3 認定 NPO 法人へ向けて

議題 1 平成 26 年(2014 年)総会(2013 年度) に向けて
平成 25 年度(2013,年)事業報告・決算見込み
平成 26 年度(2014 年)平成 27 年度(2015 年)事業計画・予算
職員給与について
以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第 2 回理事会

[名 称] 平成 26(2014)年度第 2 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室
[日 時] 平成 26(2014)年 3 月 29 日(土)午後 4 時 30 分～5 時 50 分
[出席者数] 11 名 (総数 12 名 本人出席 8 名、議決権行使書 3 名)
[内 容]

議 事

報告 認定 NPO 法人申請状況について
上半期の事務事業進捗について

議題

第 1 号議案：人事考課及び処遇について
平成 26 年 4 月以降の職員の処遇

第 2 号議案：就業細則について
職員職能等級に関する細則第 2 条 4 を追加する。

- 4 常勤雇用職員および年次雇用職員が専門資格(学芸員等)を取得し、または同等の経験を有し当該職務の遂行に資するときは、等級に応じ 4 号俸以内の上位号俸を給することができるものとする。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第 3 回理事会

[名 称] 平成 26(2014)年度第 3 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館 集会室
[日 時] 平成 26(2014)年 8 月 30 日(土)午後 2 時 00 分～3 時 30 分
[出席者数] 11 名 (総数 12 名 本人出席 8 名、議決権行使書 3 名)
[内 容]

議 事

報告

- ① 認定 NPO 法人状況について
3/31 大阪市より特定非営利活動法人の認定
8/15 大阪市より寄附金税額控除に係る指定申請の決定
大阪府は未定・他府県については問い合わせのこと

- ② 上半期の事務・事業進捗について
上半期の収支計算の概略
今年度助成金について
ネットワークの報告(RDB) 本年度予算なし
パナソニック NPO サポートファンド申請中

議題

- 第 1 号議案：人事について
平成 26 年 4 月以降の職員の処遇
全員 1 号俸昇給、学芸員資格者 3 名及び同等者 2 名は+3 号俸昇給
第 2 号議案：下半期の事務・事業について
寄附金の 20%以内を事務経費として承認

11/15, 16 大阪自然史フェスティバル
12/23 生物多様性協働フォーラム
2月頃 生物多様性保全ネットワークシンポジウム

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第4回理事会

[名 称] 平成 26(2014)年度第 4 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室
[日 時] 平成 26(2014)年 12 月 27 日(土)午後 3 時 00 分～5 時 30 分
[出席者数] 11 名 (総数 12 名 本人出席 8 名、議決権行使書 3 名)
[内 容]
議 事

報告 1 2014 年(平成 26 年)事務事業の実績

友の会事業
ワークショップ関係
大阪生物多様性保全ネットワーク
大阪自然史フェスティバル結果
東日本震災支援事業
平成 26 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(地域における草の根活動支援事業)
大阪キッズプラザ
池田市五月山動物園ウォンバットプロジェクト
活動報告会 4 月 26 日(土) ほか

報告 2 指定管理事業(あくあびあ芥川)の受託事業進捗
緑地資料館 20 周年 博物館相当施設指定 記念事業

報告 3 事業契約状況と次年度契約動向

報告 4 認定 NPO 法人 運営状況について

市民公益税制は、府内で公益的な活動を行う団体のうち、大阪府が指定した団体に対する寄附金等について、個人府民税の所得割の税額控除が受けられる制度が 2015 年から施行される。

報告 5 パナソニック NPO サポートファンドの実施について

以上、事務局より説明があり、出席理事全員の一致で承認された。

議題 1 2014 年度(平成 26 年度)第 15 回定期総会に向けて
2014 年度(平成 26 年度)事業報告・決算見込み
2015 年度 2016 年度(平成 27・28 年度)事業計画・予算

議題 2 次回理事会および 2014 年度総会等の開催について
① 2015 年(平成 27 年)2 月 7 日午後 1 時 30 分から理事会
同 午後 3 時 00 分から総会

② 提出議案について

議題3 役員を選任について

今般、谷田一三理事長が一身上の都合により平成26年12月31日をもって理事長を辞任することとなったため、その後任の理事長を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した。

理事長 梅原 徹 平成27年1月1日就任

なお、被選定者は、席上、即時、その就任を承諾した。

来年度の役員改選にあたり現理事は留任とし、組織基盤の強化のため、新理事として天満和久氏・上田和歌子氏の2名を推薦する。

議題4 職員賞与の支給について

専決報告

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。